

EV 充電インフラ導入を後押しする『EV 用急速充電器レンタルサービス』 淀川変圧器株式会社・株式会社ミントウェーブと提供開始

1 はじめに

経済社会システム全体の GX（グリーントランスフォーメーション）変革に伴い、日本政府は、2035 年度までに乗用車新車販売における電気自動車（以下、EV）等電動車比率 100%を目指し、充電インフラを 2030 年までに 30 万口設置する目標を掲げている。各法人においても EV の導入が進み、充電インフラを自ら設置するなど、EV 用充電器のニーズが高まりを見せている。

そこで、初期費用の負担を軽減するレンタルで EV 用急速充電器を試験的に導入し、その利便性を見極めた上で本格的に導入できる選択肢を提供したいと考え、東光高岳と株式会社ミントウェーブ（以下、ミントウェーブ）は淀川変圧器株式会社（以下、淀川変圧器）と共に、「EV 用急速充電器レンタルサービス」を開始した。

本サービスは EV 用急速充電器本体を最短 1 ヶ月間からレンタルでき、多額の初期投資費用をかけることなく EV の充電環境を導入できる。また、お客さまのニーズに応じて設置工事やアフターサポート、撤去までをセットにしたプランも用意し、円滑な導入を支援する。

2 三社の強みと役割

三社の強みとサービスにおける役割を以下に示す。

(1) 強み

東光高岳とミントウェーブは、「Charging on your side」を理念として、充電インフラをご利用いただくお客さま、設置いただくお客さまに寄り添い、常に身近に感じていただけるよう事業活動を進めている。

東光高岳の EV 用急速充電器は 2009 年の初号機販売開始以降、これまでに国内累計出荷台数トップの約 5,000 台を出荷している（2024 年 3 月時点自社調べ）。24 時間 365 日受付可能な全国ネットワークのメンテナンス網を配備したミントウェーブと一体となり、製造・販売から保守・メンテナンスまでの一貫したサービスを展開している。

オリックス・レンテック株式会社のグループ会社である淀川変圧器は、受変電・発電設備の設計・製造・レンタル・販売を行う、受変電設備の総合エンジニアリングメーカーである。今後も豊富な在庫や全国での多彩な納入実績、技術提案力などにより、お客さまの期待に応え社会の発展に貢献していく。

(2) サービスにおける役割

各社の強みを活かし「EV 用急速充電器レンタルサービス」を提供する。東光高岳は、EV 用急速充電器を製造し提供する。ミントウェーブは、EV 用急速充電器の導入コンサルティングや設置工事、運用開始後の保守メンテナンスを担当する。そして、淀川変圧器は、レンタルサービスの提供や、契約や保守などのお客さま窓口、レンタル設備の保有を行う（図 1）。

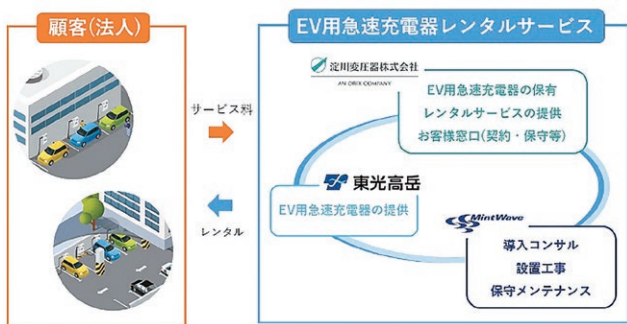


図 1 EV 用急速充電器レンタルサービスの概要

3 今後の展望

カーボンニュートラル社会の実現に欠かせない EV 用急速充電器の普及拡大を目指し、さまざまなアライアンスパートナーとの協業を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献していく。